



# 「世界農業遺産」

「みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会」による寄附講義

**申請期間 :10/10 (木) ~ 11/20 (木) 必着**

### 【授業のねらい・概要・科目の位置付け】

みなべ・田辺の梅システムが世界農業遺産に認定されたこともふまえ、世界農業遺産とは何か、当地の農業遺産のシステムと生態系の価値ついて、一般的な生態学の知見も交えながら、座学と現地生態系演習により習得する。地元世界農業遺産協議会の全面的な支援のもと、将来的な農業遺産のシステムを説明・活用できる人材を育成する。本講義は「みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会」による寄附講義である。

担当教員：和歌山大学システム工学部 環境システム学科 教授 養父志乃夫(ヤブ シノブ)  
(多様なゲスト講師・現地ステークホルダーの支援も得る)

### 【授業計画】 ※記載の内容、担当教員は変更することもあります。

第1回 12月7日(土) 13:00~17:00 (会場:ビッグ・ユー)

1. 世界農業遺産と日本 (ゲスト講師) ビッグ・ユー
2. みなべ田辺の梅システム (養父) ビッグ・ユー
3. 梅システムとニホンミツバチ (高橋純一) ビッグ・ユー

第2回 12月14日(土) 9:30~17:00 (現地踏査: みなべ町うめ振興館、他)

4. 現地踏査 (養父・梅システムマイスター) 梅林と薪炭林
5. 梅システムによって生産される料理の評価(岩本直子他) みなべ町西本庄
6. 梅システムと行政 (原康雄) みなべ町うめ振興館
7. 梅システムの歴史 (梅システムマイスター) みなべ町うめ振興館

第3回 1月25日(土) 9:30~17:00 (演習先: みなべ町清川地区)

8. 梅の植物生理と育種 (野畑昭弘)
9. 役場・協議会担当者による申請プロセス、合意形成、今後の展望の説明 (中早良太) 紀州備長炭振興館
10. 備長炭生産調査 (原正昭) 炭窯
11. 薪炭林持続性調査 (松本真) 紀州備長炭振興館

第4回 2月1日(土) 9:00~16:00 (演習先: 南部梅林、会場: みなべ町うめ振興館)

12. 観梅状況・ランドスケープ調査 (養父・梅システムマイスター) 南部梅林
13. 班別作業 みなべ町うめ振興館
14. まとめと発表 みなべ町うめ振興館
15. 梅システムの今後の展望、総括 みなべ町うめ振興館



### 【受講のご案内】 定員15~20名 ※在校生の登録状況に応じ若干名変動あり

学部開放授業は18才以上の方でしたらどなたでも受講していただけます。  
※高校生は大学授業の公開制度を利用できます。受講料、申請内容については学校にお問い合わせ下さい。締切日は別途設定されておりますのでご注意ください。

※みなべ町、田辺市に在住、在勤、または両市町に所在する組織等に所属する方は、受講費の助成を受けることができます。詳しくは、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会(0739-33-9310)にお問い合わせください。

和歌山市の大学から先生が会場に来て授業を行います。週末中心の授業で働きながらでも学びやすくなっています。費用は1科目あたり10,000円です。初めてご登録される方は登録料7,000円が別途必要となります。

●お問い合わせ先

## 和歌山大学南紀熊野サテライト

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9-102 和歌山県立情報交流センター Big.u 内  
TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978 開室時間 10:00~17:00(日曜・月曜・祝日休み)  
ホームページ <http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>  
メール [nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp](mailto:nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp)

詳細はHPを  
ご確認ください

